

第4次国有林野事業流域管理推進  
アクションプログラム  
(吉井川、旭川、高梁川下流)

近畿中国森林管理局  
森林技術センター  
岡山森林管理署

(計画期間：平成22年4月1日～平成25年3月31日)

# 岡山森林管理署国有林野事業流域管理推進アクションプログラム (吉井川、旭川、高梁川下流)

## 1 流域の特色

### (1) 森林面積

全体	(国有林 3 2 千ha、民有林 4 4 6 千ha)
吉井川	(国有林 1 3 千ha、民有林 1 6 7 千ha)
旭川	(国有林 1 0 千ha、民有林 1 2 5 千ha)
高梁川下流	(国有林 1 0 千ha、民有林 1 5 3 千ha)

注) 四捨五入のため各流域と全体は一致しない

### (2) 流域の特徴

#### 【吉井川流域・旭川流域・高梁川下流域】

岡山県は、東部の吉井川、中央部の旭川、西部の高梁川下流の3流域で構成され、全体の森林率は約68%、森林に占める国有林面積は約7%となっている。

なお、県下の人工林率は民有林で約39%、国有林で約70%となっている。民有林、国有林とも人工林の齢級構成は6～11齢級が中心となっており、間伐対象齢級が多くなっている。

平成20年の素材生産量は年間約37万m<sup>3</sup>に止まり、大半が県北5原木市場に集荷されている。木材加工業は、製材業が主体で平成20年には119製材工場あり、その内76%は国産材加工専門工場であり、県北地域を中心に立地している。

木材流通では、集荷能力が大きく仕分け機能に優れた木材市場が発達している。また、国産材新生産システムモデル地域もあり、岡山県が推進する「21おかやま森林・林業ビジョン」の施策として、低コスト林業の確立、作業道等路網の整備、間伐の促進、多様な森林施業の推進、県産材利用の推進、高次加工化、木質バイオマス利活用の推進等に向け取り組んでいる。

## 2 流域内で優先的に取り組むべき課題

岡山県においては、「21おかやま夢づくりプラン」、「21おかやま農林水産プラン」、「岡山県林業・木材産業構造改革プログラム」(平成19年3月策定：平成21年2月変更)等において、施策の具体化を進めている。

また、平成22年3月策定の「21おかやま森林・林業ビジョン」(計画期間2010年～2020年)において、間伐の推進、高性能林業機械の効率的な利用、低コスト施業団地化の推進、公共施設等の木材使用量、木質バイオマス利用施設の整備等について具体的目標を掲げ取り組むこととしている。国有林においても①地域への安定的な原木供給、②岡山県、おかやまの森整備公社、森林農地整備センター中国四国整備局、森林組合等と連携した森林共同施業団地の設定を進めていくことが求められている。

### 3 国有林野事業に対する流域内のニーズ・要望

第4次流域管理推進アクションプログラム策定にあたり、岡山県、管内市町、教育関係者、森林の利用者、林業・木材関係団体、自然保護団体等に対し、国有林野事業に対する意見・要望等を聴取した結果（別紙）、①間伐材等の安定的な原木供給、林業事業体の育成、②効率的な路網整備、森林共同施業団地の設定、③林業技術開発、林地残材等低質材の利用促進、④公共施設への県産材の利用、⑤林業体験活動等の指導等、情報交換等の意見や要望が寄せられた。

### 4 国有林野事業が率先して行う取組

流域の特徴や国有林野事業に対する流域内のニーズを踏まえ、平成22年度から3カ年において次の取組を率先して行うこととする。

特に、民有林施策との連携強化を図るため、「新生産システム等地域への安定的な原木供給」、「民国連携による森林共同施業団地の設定等」、「人工林における森林整備手法の違いによる生物多様性の検証」、「県民・企業等の参加による林業体験活動等の企画・支援」の4つの取組については、岡山署の最重点取組として設定し、具体的行動計画に基づき積極的に取組むこととする。

#### ①-1 計画的な木材供給の推進

ア) 目標：新生産システム等地域への安定的な原木供給（最重点取組）

イ) 連携・協力機関：岡山県、岡山新生産システムモデル協議会、林業事業体、森林組合、原木市場

ウ) 取組方向

- ・岡山県地域材安定供給協議会と連携し、国有林材の原木市場への安定供給。
- ・システム販売による製材工場等への原木供給。

エ) 行動計画

具体的行動計画	連携・協力機関	H22	H23	H24
・県地域材安定供給協議会等への参加による情報交換 ・システム販売による製材工場等への原木の供給	県、森林組合等			→
	製材工場等			→

#### ①-2 計画的な木材供給の推進

ア) 目標：林地残材・未利用材等の木質バイオマス資源としての利活用の推進

イ) 連携・協力機関：津山市、真庭市、真庭木材事業協同組合、素材生産事業体

ウ) 取組方向

- ・林地残材・未利用材の効率的な収集、搬出、加工についての情報交換（H22～H24）。
- ・国有林内の林地残材等を計画的に処分し、効率的な収集、搬出方法等の検討（H22～H24）。

**② 森林施業の効率化・共通化等の取組**

- ア) 目標：民国連携による森林共同施業団地の設定等（最重点取組）
- イ) 連携・協力機関：岡山県、市町村、森林農地整備センター、おokayamaの森整備公社、森林組合等
- ウ) 取組方向
  - ・岡山県、森林農地整備センター、おokayamaの森整備公社、当署が連携のうえ新見市神郷高瀬地域に計画している民国連携による森林共同施業団地の具体的な森林整備等の計画・実行。
  - ・上記以外の地域について団地化についての可能性調査。
- エ) 行動計画

具体的行動計画	連携・協力機関	H22	H23	H24
・協定の締結、運営会議により、具体的な森林整備の計画・実行	県、森林農地整備センター、おokayamaの森整備公社 市町、電力会社、森林組合等	—		→
・新たな団地化についての可能性調査		—		→

**③ 林業技術の開発・普及・啓発、林業事業体の育成**

- ア) 目標：技術開発の推進と間伐事業等の計画的な発注及び林業事業体の育成
- イ) 連携・協力機関：岡山県、森林総合研究所関西支所、岡山大学、林木育種センター関西育種場、森林組合、林業事業体
- ウ) 取組方向
  - ・人工林に介在する天然性広葉樹の更新拡大メカニズムの検証(技セH22～H24)
  - ・公益的機能の発揮に資する樹下植栽に適応可能な種苗の導入実証試験（技セH22～H24）
  - ・無下刈施業に適用可能な種苗の導入実証試験（技セH22～H24）
  - ・低コストを目指した育林技術（簡易な軽量ポットによる挿し木苗の技術）の開発（技セH22～H24）
  - ・安定的な事業の発注による林業事業体の育成（H22～H24）
  - ・緑の雇用担い手育成事業の研修フィールドとして国有林を提供（H22～H24）
  - ・労基署と連携し、林業労働安全確保のための安全パトロール等の開催（H22～H24）

**④ 安全・安心への取組**

- ア) 目標：民有林・国有林の連携による治山事業の推進
- イ) 連携・協力機関：岡山県、市町村、地元中学校
- ウ) 取組方向
  - ・治山事業連絡調整会議（近畿中国局主催）への参加（H22～）。

- ・砂防治山岡山地方連絡調整会議（岡山県主催）への参加（H22～）。
- ・山腹斜面の復旧と溪流の不安定土砂対策とした谷止工の実施（H22～H24）。
- ・保安林機能の低下した森林において、本数調整伐を施工し、保安林の公益的機能を向上（H22～H24）。
- ・水源の里保全緊急整備事業における地域住民等の森林整備等への参画（H22～H23）。
- ・保安林改良事業（山火事跡地の復旧）による広葉樹の植樹（H22）。
- ・中学生を対象とした職場体験学習における保安林、治山施設の見学会等の開催（H22～H24）。

### ⑤ー１ 生物多様性保全に配慮した取組の推進

ア) 目標：人工林における森林整備手法の違いによる生物多様性保全の検証（最重点取組）

イ) 連携・協力機関：森林総合研究所関西支所、岡山大学

ウ) 取組方向

- ・森林整備手法が異なる小流域において、溪流の上流から下流沿いに土壌、動植物等の生息・生育調査を実施し、各小流域の現状把握と相違について検証を行う。
- ・各小流域に下刈、除伐、間伐などの森林整備を実施し、施業後の動植物の生息・生育の変化についてモニタリングを実施し、生物多様性に及ぼす影響等について調査する。

エ) 行動計画

具体的行動計画	連携・協力機関	H22	H23	H24
・プロットの設定（溪流区、事業実施区）	森林総研関西支所 岡山大学	→		
・植生調査、土壌調査	森林総研関西支所 岡山大学		→	
・動物生息調査、溪流区に生息する生物調査、水質・水量調査	森林総研関西支所 岡山大学			→

### ⑤ー２ 生物多様性保全に配慮した取組の推進

ア) 目標：自然環境情報の収集と国有林の現地調査等の実施

イ) 連携・協力機関：環境省、岡山県、同林業試験場、新見市、真庭市、西粟倉村、金ポタルを守る会、天王八幡神社、地元小学校

ウ) 取組方向

- ・金ポタルの生息する森林における施業の確立（技セH22～H24）
- ・東中国山地緑の回廊連絡調整会議に参画し、自然環境情報の収集、発信ス

テムを構築する(H22～)。

- ・三室国有林のブナ林保全のための現地調査等の実施(H22)。
- ・環境省・林野庁との連絡会議に参画し、蒜山国有林の自然環境情報を収集する(H22～)。
- ・研究機関と連携したカシノナガキクイムシの被害把握と効果的な駆除(H22～H24)。

⑥ 上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供・林業体験活動等

ア) 目標：県民・企業等の参加による林業体験活動等の企画、支援(最重点取組)

イ) 連携・協力機関：岡山県、新見市、津山市、県北森林・林業活性化促進議員連盟、一般企業、地元小中学校、高校等

ウ) 取組方向

- ・岡山県北森林・林業活性化促進議員連盟と連携のうえ「森林を考える岡山県民のつどい」を積極的に支援し、つるかご作り、木工クラフト、パネル展示を通じ地球温暖化防止対策や森林の保全、林業の振興、地域材の需要拡大を図る(H22～H24)。
- ・小中学生を対象とした森林教室・職場体験学習、高校生の国有林業務の体験(インターンシップ等)、企業の社会貢献活動の一環として市民が取り組む「どんぐりの森づくり」を支援することとし、フィールド提供、技術・安全指導を行う(H22～H24)。
- ・法人の森林設定企業が行う各種林業体験についてボランティアグループと連携し行事の企画、技術・安全指導を行う(H22～H24)。

エ) 行動計画

具体的行動計画	連携・協力機関	H22	H23	H24
・森林を考える岡山県民のつどい	岡山県、津山市 県北議員連盟	—	—	→
・小中学高校生による国有林の職場体験学習等、どんぐりの森づくり	教育委員会、中学 高校生、一般企業	—	—	→
・法人の森による各種林業体験	法人の森林設定企業	—	—	→

流域名・流域番号	吉井川 流域 (105) 旭川 流域 (106) 高梁川下流域 (107)	担当部署	岡山森林管理署
計画期間	平成22年4月1日～平成25年3月31日		

## 要望等聴取結果総括表

聴取先	要望等の区分別件数							主たる要望事項
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
都道府県 (出先含む)	7	3	3	1	3	1		1 地域への安定的な 原木供給 2 民国の情報交換 3 林業事業体の育成
市町村	2	8	1	1	3	1	1	1 森林共同施業団地 の設定 2 効率的な路網整備 3 間伐の積極的推進
教育関係者 (教育委員会、小 ・中学校等)							1	・ 国有林業務の体験
森林の利用者 (山岳会、NPO、 研究機関等)	1	2	1		2	6	1	1 フィールド提供 2 森林整備の指導、 歩道整備等への支援 3 山野草の調査
林業関係者(森林 組合、請負事業体 等)	19	12	10	2	6	9	1	1 間伐材の安定供給 2 効率的な路網整備 3 林業技術開発、林 地残材等の利用促進
木材関係者(市場、 木材工場、建築関 係団体等)	11	2	1	2	2	3	1	1 間伐材の安定供給 2 公共施設への県産 材の利用 3 森林・林業のPR
一般企業、社寺等								
自然保護団体等							1 2	1 イベントへの支援 2 広葉樹の植樹
国有林の周辺町内 会、隣接森林所有 者等								
合計	40	27	16	6	17	23	4	

注1) 要望等の区分は、①計画的な木材供給の推進、②森林施業の効率化・共通化等の取組、③林業技術の開発・普及・啓発、林業事業体の育成、④安全・安心への取組、⑤生物多様性保全に配慮した取組の推進、⑥上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等、⑦その他とし、要望の件数を記入。

注2) 主たる要望事項等の欄には、件数の多い順に3つ記載。